Vol. 30 No 8574 Tuesday, July 23 1935 TAIRIKU NIPPO 昭和十年七月廿三日（火曜日）第八千五百七十四號

海軍の比率主義
突如英國が放棄宣言
日本へ英國が妥協したものとし
米國は極度に狼狽

ロンドン廿二日——廿二日の英國下院では英獨海軍協定に關し熱烈な論議が行はれたが海軍縮小に對する態度としてセンセル海相は次の如く言明した「海軍比率主義は諸國政府で國民的名譽を傷けるものとして反對したので海軍比率主義は放棄の已むなきに至つた、英國政府としては新しい海軍上の方式を採用することとなつた」

× × ×

華府廿二日——英國のセンセル海相が廿二日英國下院で海軍力に關する比率主義放棄を明した事は米國政府に

多大なる衝撃を
與へてゐるがリップス次官

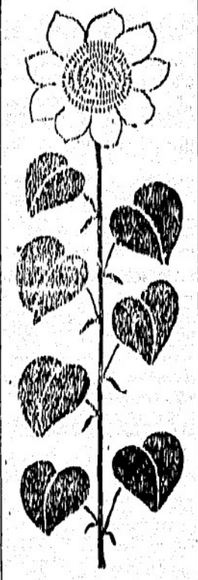
日下國務當局は働く處で愼重な態度を維持、ビンガム大使からも何等の報告がゐるまでは論評を差控へたいと述べてゐるので英國政府が突如現行條約の基礎を破壊する一方的な處置に出たのは當局に取つて全く豫期しなかつたものゝ如くである、スリンソン長官が各國政府さへ現行海軍條約の制限を維持すれば米政府は新建艦計畫を變更しないと言明してゐるので英國政府が突如現行條約の基礎を破壊する一方的な處置に出たのは當局に取つて全く豫期しなかつたものゝ如くである、スリンソン長官が各國政府さへ

比率主義の廢棄
を確言したのは當局に苦しむ逃べてゐる、更にビツトマン上院外交委員長は記者に英國政府の非難して曰く「比率主義の放棄は單に條約の放棄に外ならぬ英政府今回の行動は國際條約を二片の反古視する新たな事例だ」

公正妥當なる
我主張に從へ
英の比率主義放棄は快報だ
海軍當局豪然と語る

東京廿三日——英國海軍卿センセル海相が廿二日下院に於いて海軍力に關する比率主義を放棄する旨を明らかにしたことは一九四二年に於ける倫敦海軍條約の制限を維持しない場合には英國は無制限に海軍力を擴張する方針である旨を明らかにしたとの報に對し海軍當局は左の見解だ

（一）元來英國は從來から軍縮に對する帝國政府の公正妥當な主張を支持する立場に在つたが、一九三五年英國政府が帝國主張の一部を採用したものであり帝國海軍は英國海軍と共に現行條約の制限を維持しない場合には英國と同一の海軍力を保有する事を主張して居るのであるから英國政府が



晩市へ四日の旅

（三）

小百合

七月一日午後ユニオンパシフィックの客車に乗つて出發した。

親友はお祭りの行列を見やうと十時頃少し旅館の主人夫妻と二人のお手傳ひと五人の客人と連れだつてヘスタングス街の旅館の二階を借りてゐたがつた。

ヘスタングス街の四階建は既に人の山を二重にも三重にもかさねて待つてゐた。

二時から四方を見おろせる道路の中央は行列が通るので巡査がコーナーにツツシてゐる。白いの制服の巡査はその間を行列を見る人が一ぱいの間つて歩いてゐた。

待つ事も約一時半位して行列は十一時半頃明るい陽光と微風と人が先頭で市廳

勇　明　美

（At Sea の日に）

レルクレースにも、空がふき渡るやかに漂ひて

かぎりなく和みたり

コバルトの空

光りに、いさる泉のほとばしりて

照々と大空に泳ぐその男姿

歓喜

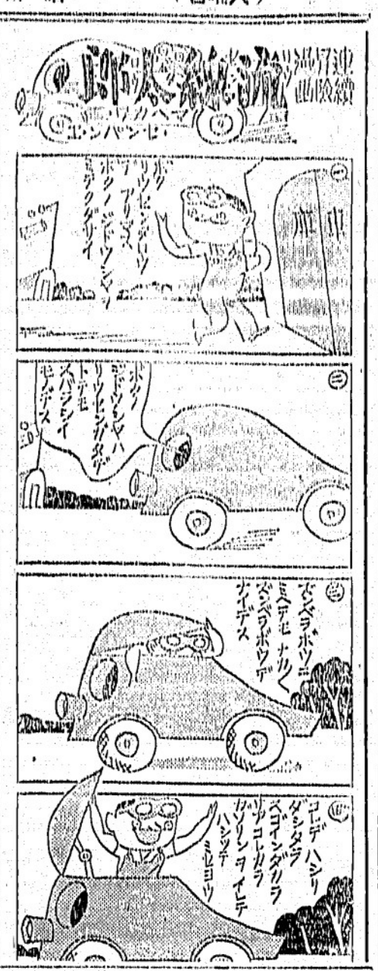
わとがれの泉

盡たり、空の主者

わゝ、勇敢！

の自動車がそれにつゞき静々と通り始めた。

行列は先づ陸海のいさを人幼年い十名位のボーイが果毛の馬に乗つて、ゆるゝと行列の中に乗つて、ゆるゝと行列の中に乗つて、ゆるゝと行列の中



露臺夜話

レヴュー裏表

ムーラン・ルージュ　水町扇子

巡業の時は、一箇金都合して大きい浪をパンやでばたくつて位、その前でレヴューの踊子は本物の海へ行く所ではなくて、一日三回興行で、クタ〳〵になつて見物よりも先づ我れ等に熱いお風呂を浴る、新宿ムーラン、ルージュの楽屋口を此ます本物のレヴューより此の方所の大踊御贔屓ですから、今日からは目的なんですから、アンタ恥かしいつけてさわ、次を開んで下さいわくわ

◇

さうね、涼しくつて面白い話つて——やつてゐる演物なんか実は一日には海水着姿の女やビーチ・パラソルが出て涼しさうなやつてる人はどこも暑いわよ、空も風通しがなく悔しやにむす所へイキがガン〳〵でもう少したつた時が思ひやられるわ、でも今年の夏は北海道「巡業にゆくからいくらか助かると思つてる、然し新宿のインテリに受けた御本が地方へ行つてさつぱり駄目なのがわつてカンの所でソッと楽ないので温泉するやつぱり東京のお客が一番通んでせうね。

◇

風呂に揺られて宿へ着いて、あるひは家へ帰つて先づ一風呂、旅の疲れを流してサッパリとなんてのはお古い事になりさうです。と申しますのはこの程鶴巻で立案された四つのサービスの中にお風呂附の電車、つまりシャワー・カーなるいとも突飛的な計画が進められて居るさうで。但し風呂と申しましても色々御座いてシャワー・バスと申す、サッと汗を流す程度の物なんでせうが。

◇

入浴御関係なんて、東京旅館の廊下みたいですが、廊下両側を憧憬たらしめた東海道五十三次の風景をお風呂の中から見ながら走るなんて、たゞけでも愉快なもので、富士の麓峰を前面に眺めてシャボンの泡をそねるなんて一寸漫画風呂のやうですが、一風呂わびてから食堂車へ行つてビール、この食堂車がまた冷房装置が行届いて三伏の暑さといへども軽井澤の高原に居ると同様の爽涼さをもてはやす事でせう。

◇

「君、この次の列車には風呂がつ
「汽車の内にも移動警察が御座いますソ」

◇

しとやかなうちにもゲンとしてをかし難い花嫁さんですが、なかにはサバケたのも居るです。ユーモア小説家つくるところの近代女性型は新郎たる者が完全にリードされちやうです。

「アンタ、妾メーキアップが崩れさうで気持が悪いから一風呂入り給へ」

「アラ、あなたは？　今日からは一心同体でしよ、アンタ恥かしいの、お馬鹿さんね、早くしないと、丹那トンネル通り過ぎちやうわよ」

側の乗客の熱い事、冷房装置なぞノックアウトされちやうです。しかし、しかし悪しかなこのシャワーカーは一等の客だけにしか利用されさうもないんです。

◇

理由は浮世の常で財政の不足か慢慢院一言大居士なんて何事にもだまつて引下がるです。

◇

「叱られるといふんですか？」

◇

「いゝ景色ですね」

「はア」

新婚旅行の車中会話なんてものは、来賓祝辞みたいにダイティ型にはまつとるです。また不思議な位に日本の女性は左様九十五パーセント位までは、花嫁となつたトタンにしとやかになつちやうですな、性どんをイミなきまでに物静かな人格に転向するです。花嫁イデオロギーとでもいふんでせうが新郎たる者グローブをはめて、握手してるやうな物足らなさを感じる、わに、吾人のみならんやでせう。

◇

「どうですか一風呂入つては」

「エ、、貴郎どうぞ」

「僕も入るですがね、貴女は？」

「妾は結構で御座いますの」

「そんな事いはずに一緒に行きませうよ」

新郎の野心セロハンの如く見透いてます。

「エ、、でも……」

「イ、ぢやないですか、それ悪僕に見せられない個所でもあるんで快さに誘惑したいために乗車する人が出て来るかも知れんです。新婚旅行二泊旅へ行くなんて時代遅れだよ、てなことになつて、みなこの風呂附き列車を利用する……」

風呂附き列車

ニユウス漫談

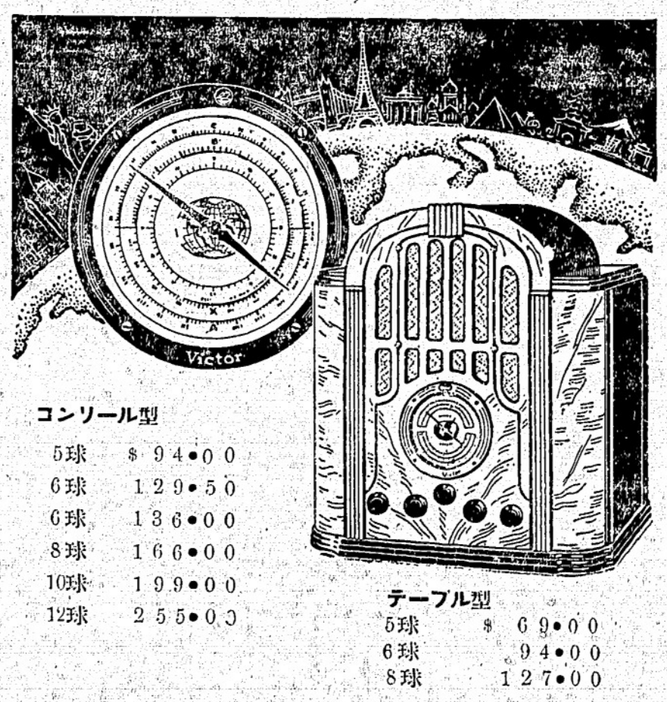
春駒勇

若返りは
お薬の御厄介よ
り、三度の食事
を味の素で美味
しく、楽しく！

味の素
（登録商標）

宮内省御用達　味の素本舗　株式會社鈴木商店

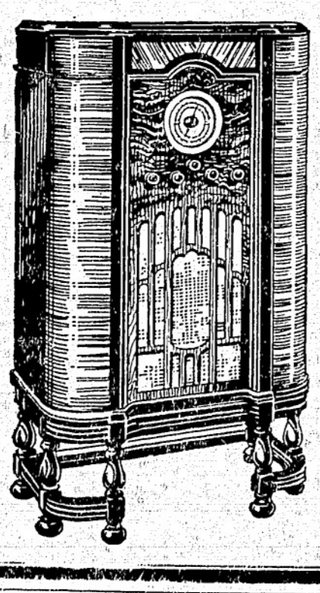
!!音いしら晴素のこ
に共に風涼の夏眞なか爽
るれ溢に庭家御　がび歓いしら新



燦！長短波ラジオ蓄音器コンビネーション

コンソール型
5球　$94•00
6球　129•50
6球　136•00
8球　166•00
10球　199•00
12球　255•00

テーブル型
5球　$69•00
6球　94•00
8球　127•00



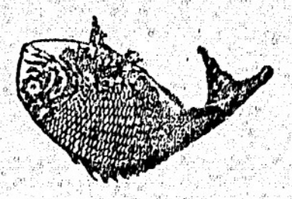
6球 $186•00
8球 $235•00

御試聴の上是非御家庭へ
—目錄進呈—

バウエル街二〇一
ビクター特約店
大正堂
電話ダグラス五五

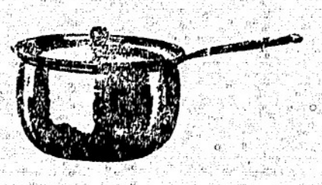
太平洋萬里の波濤を越えて
懐しの御國からの放送!!
非常時—祖國日本の正確な情報
躍進日本文化の實際を聞かれよ
斯界の王者ビクター
長短波ラジオ

ミションへネー客自動車
晩市發　午前十時半　午後二時　五時　七時半
ミション發午前八時　十一時十分　午後一時二十分　五時
週末特別乘車賃往復一弗九十五仙
Mission - Haney - Vancouver Stage
晩市アボツツ街四四〇
電話シーモア八三一
ミツション電話一三七



かまぼこ
製造販賣

バウエル街参参参
前川魚肉店
電話ドグ三八六
同　三八七
住宅ドグ四七八七アール



大工道具一切
晩市バウエル街三六八
秋山金物店
電話ドグ二三七

鮮魚、肉、青物
其他食料品一切
ニウフイシマーケット
新魚市場
バウエル街三九六
電話ツリニチ一二九九六
夜間ハイ一三八八アール

二十年來日本人諸君の御用を承つて居り充分の經驗と特別の注意を以て御下命に應じます
東へステングス街一二三五
エスアール ベル葬儀社
電話ハイランド一五
BELL FUNERAL HOME

生菓子
カステラ
晩市バウエル街三九二
住よし

民謡踊に附きもの
『四竹』が白人に流行
英語の辭書にチャーンと載る

昔から日本の民謡踊に附物であつた拍子木の様な『四竹』が遂く太平洋の波を越して米國ロサンゼルスで不圖した日本人の思ひつきから驚異的流行の王者となつたといふエピソードがある

◇

事は日ロサンゼルスにある雑貨商を営む力石孫太郎氏が郷里の極く親しい友人に『四竹』を送つたのが始まりで、それが次第に波及して日本人間にオンドネツツと呼ばれ一九三五年の米國語辭書にも立派に『オンドネツツ』として収録されてゐるさうだ（本日着特電）

◇

四竹は長さ三四寸の長方形の竹片二個づゝを左右の手で持ち（糸で指と中指とに結ぶ）これを打ち合せて拍子をとるもの、支那の歌妓から轉じたものらしい、琉球では古くから是を打ちながら踊る郡歌んだつたが日本は承應の始め（西暦一六五〇年頃）長崎から一挙次と云ふ者が大阪に傳へたといふ、其頃四竹節と云ふのがあつた

◇

此の平和の偉人が日本を訪れ熱誠溢るゝ歓迎を受けつゝ長くも明治大帝に對し奉り黎明期の我國に懇切な所懐を奏上し國民に深い感銘を與へたのは明治十二年だつたが、將軍がニヨーク州で偉大な生涯を終つてから既に五十年けふ廿三日其の記念日に當り東京市と日米協會が主催となり日米關係者が此の記念碑の前に集まつて將軍の五十年祭を行ひ徳川家達公、阪谷芳郎男の追懐の辭がありネビル米代理大使の挨拶があつて床しい日米交驩の記念式を閉ぢた

◇

上野の綠陰で

床しい式典
グラントを偲ぶ

東京特電——上野の杜の綠陰に米國の偉人を偲ぶ床しい式典が廿三日の朝行はれた、グラント廣場と呼ばれてゐる公園の一角の當磐木に包まれた大理石の記念碑があるそれが米國の南北戰爭の際將であり第十八代の大統領であるグラント將軍とジュリアン夫人が來朝の記念に植えた『我等に平和あらしめよ』の記念碑だ

◇

此の平和の偉人が日本を訪れ熱誠溢るゝ歓迎を受けつゝ長くも明治大帝に對し奉り黎明期の我國に懇切な所懐を奏上し國民に深い感銘を與へたのは明治十二年だつたが、將軍がニヨーク州で偉大な生涯を終つてから既に五十年けふ廿三日其の記念日に當り東京市と日米協會が主催となり日米關係者が此の記念碑の前に集まつて將軍の五十年祭を行ひ徳川家達公、阪谷芳郎男の追懐の辭がありネビル米代理大使の挨拶があつて床しい日米交驩の記念式を閉ぢた

◇

武者小路大使

八月一日の
淺間丸で
日本船の衝突

東京特電——宇和島、阪神定期船「第十五宇和島丸」（八〇一噸）は廿二日午後十時高濱港に入港せんとし大連航路貨物船照國丸を避けんとして衝突、船体大破したが乗客を直ぐ下船せしめ死傷者なし

◇

福島協友會野遊

福島協友會は來る廿八日（日曜）ユニオン停車場南端廣場でピクニック開催、參加を希望

◇

◉婚約　新西院佛青幹事長田澤利雄氏は入谷清太郎氏夫妻媒妁でヒルクレスト在住猪本晉松氏長女靜江嬢と婚約整ひ今秋結婚式擧行

青棟の下にて

◇

ロサンゼルスの對白人講演會で加藤勘十氏が、日本語で雄辯を揮つたと云ふ報道は、近頃愉快なニュースである、眞の世界的勞働者の握手は人種も言語も、凡てを超越して結ばれなくてはならぬ。

◇

昨年末から本年春へかけて、ロンドンで開催された、日英米三國海軍々縮豫備會談で、三日前當地から歸朝した松平大使と共に大いに奮闘した山本由將も、英語は

長髪美幕軍と
朝日の野球戦
いよ〳〵今晩八時半

◇

サンドリー

◇昨夜のローニー對ショアス戰は七對二でショアスが勝つた

ローニー　〇〇一〇〇〇〇〇二
ショアス　三一〇〇一一〇X一七

ショアス投手はエーリー

スタンヂング

アイオコ	七勝	八敗・六八〇
ショアス	十四勝	九敗・六〇九

朝日　十三勝　十二敗・五二〇
ブランス　七勝　十五敗・三八
ローニー　七勝　十六敗・三〇四
ベリンガム　六勝　四敗

◇

今晩八時半からコンジョンス球場で朝日とハウス・オブ・デビツド長髪軍との試合がある

◇明夜ハウス・オブ・デヴイツド長髪軍と對戰するダウンセンドの選ひるターミナル・リーグ金星軍の陣容は次の通り

△投手、ジヨリツト、エスプレン△捕手、客居、スパイサー△一塁、コンドン△二塁、モーレ△三塁、フレシュフイルド△遊撃、山村△左翼、白石△中堅、デヴイス△右翼、チンリング△補助、ピ・クロスキ、ノックス

ストライキ團が
今度は逆襲手段
スト見張り團に對し

昨日午前バランタイン埠頭入口附近ではスト團と思はれる一團がスト破りの一團に脫退せんとて近づいたところをスト破り團に近づいた、スト破りは出るも入るも十名、十五名と團體を組んでいろいろな突發事件に備へてゐるさうな

◇

北濱香坡でもスト破りのインデアン一團はスト見張團らしいのにやられんとしたがインデアンはピストや棍棒を以て是に抵抗し追ひ拂ひものゝ數千人はやつて來てゐるらしい、街で米國のライセンスをつけた自動車も多く見受ける、金持ちなどは晩市内に居らず、晩香坡島や其他の浦へ船や仕立て魚釣りをやつてゐるのが相當ある由

◇

新西院市場でも埠頭人夫ストライキがスキーナ河、アラートベー、インダルド、ベラクラ、ホーシャンフオルス經由プリンスルパート行（火曜）後八時

晩市へ
避暑客多し
米國ガ面から數千名

昨今晩香坡へはアメリカから澤山の客が遊びに來てゐる、北氷洋から涼しいと思つて居るのであらう且つ昨今テニス大會や種々な大會などでも男女多數が乘り込んでゐるものゝ數千人はやつて來てゐるらしい、街で米國のライセンスをつけた自動車も多く見受ける、金持ちなどは晩市内に居らず、晩香坡島や其他の浦へ船や仕立て魚釣りをやつてゐるのが相當ある由

◇

常任總會の美術部會は日本でエヘイ騒ぎとなつた問題の「無鑑査制」を主張し可決會の美術部會は日本でエヘイ騒ぎとなつた問題の「無鑑査制」を主張し可決

安達つあん
叫ぶ
選舉肅正問題

東京特電——國民同盟は他に魁け本日午後六時から日比谷公會堂で政界廓清、選舉肅正大演說會を開き十一時散會した、安達總裁の演說要旨は左の如し

「選舉肅正の意見は多いが腹の底から發した眞劍の叫びと思へない、岡田首相が各政黨首腦部と赤心を披瀝し懇談せずば効果は期待し得ず、要するに肅正對立競爭の双方が正しき競爭をするにある自分は此の壇上よりして首相に對し政黨首腦部に懇談されるやう進言したい、今日は政黨が對立抗爭する時代ではない」

珍客！長髪野球團
對朝日の野球戰

コンヨンス・パークで　今晩八時半より

明夜同時刻にターミナル・オールスター軍

（入場料）大人二十五仙　小人十仙

夕涼みを兼ね全家族でお出で下さい

日本行汽船會社

船名　行先　發

ロシア　七月廿七日　後十二時
マニラ　七月廿三日　八月三日　後五時半

ユニオンパシフィック汽船
後二時（火木土）ポートランド河經由
オハ及プリンスルパート行
水曜　後八時・月後時シーエス

スーパーヒー別車（東部行）
後六時五〇分　後九時半

シーヒー別車（東部行）
前八時四五分　後六時五〇分　後九時半

ビクトリア行
前十時半　後十時半

シアー行
前九時　後十時半

ロシア行
前十時半　後十時半

新西院市場

卵　A大　A中　A小　ブレット

牛産者　一一九一一七六

セロリ　一把　一〇―五
パスリ　一斤　一〇―一五
ホース、ラデシ　一斤　一〇―一五
レース　一　一〇三―〇五
アニオン　サイキ　一、五〇

果物＝
クランベリー　二斤
アップル　四―六斤
ストロベリー　クレート　一、五〇　二、五〇

生肉＝

日本行郵便物本局締切日
小包は廿分、小包は二時間前
（為替受付後八時半（土）後一時迄

七月廿七日　ロシア　前九時

日本行各汽船切符取扱

日本郵船、シーピーアール、アメリカンライン

▲再渡航證明、移民官手續、妻子及使用人呼寄手續
▲出生、死亡、婚姻等届書、加奈陀政府出生届手續
▲歸化證にて當國旅券下附及妻子呼寄手續、其他一般代理

晩香坡市バウエル街二三五
電話ドグラス三九四
住宅バイ二三〇七アール

中山義一事務所

不動々産賣買　各種保險代理

不動々産の賣買や保險のことについて何でも御相談がございましたら何卒御遠慮なく御申越し下さい

日本行船切符取次　代理　水原事務所

晩市バウエル街二四五
電話シーモア三四四七

船切符販賣代理

領事館及當國政府諸届願書代作
其他法律事務代辯

井手律事務所

バウエル街二三二　電話ダグラス五五七六

日本行汽船切符直接販賣

晩香坡市東カドバ街二六一（警察署前）
移民官手續再渡航證明
妻子及使用人呼寄手續
諸願届代書一般代理業

竹内事務所　竹内　吉

電話シー一二四　自宅バイ二九一三エル

◉日本より輸入、化粧品の新荷澤山到着しました
造血强壯榮養劑、病後、産前産後、身體虚弱に……

◇ネオブルトーゼ錠　一、八〇
◇ネオネオギー（植物ホルモン）活甲劑　一、五〇
頭痛に……「はれやか」　一、〇〇

バウエル街二五〇電話シー四〇八七

▲寫眞機……六九仙以上
フイルム販賣現像燒付

文化商會

晩市バウエル街二六八

天野運送舍

杉山新吉

電話ダグラス三〇五九

大勉强

Manufacturers Life

ペンション保險

六十歳に達したるとき
毎月五十弗宛　一生の間
現金　七千二百六十弗　一時拂ひ
不幸六十歳未滿にて死亡の場合
保險金　五千弗

委細御照合次第御知らせします

マニュファクチャラース生命保險

晩市ゴーア街二〇三電話ダグ二八三

日本人部代理　信夫事務所

新昆布付數ノ子

關東鮫鯖詰、當國製海苔、江州澤庵、奈良漬
金山寺味噌、ナス辛子漬、ウニ鹽辛

自宅電話バウエル街三五三　電話ツリニチー五七八四
二七一八エル　スター魚肉店

二週間後には
同胞社會にも影響か
差當り日本ミカン市場も心配
安協の申込ありや
日加間の通商戰開始と其の影響

日本はカナダに對して從價稅率の引上を行ひ最後の切札を出したので之に對抗してカナダは日本品に三割三分三厘ノ從價稅を以て應戰し愈々日加通商戰は火蓋を切つた事になるが、日本でも加奈陀でも日本輸入品の品物には殆ど影響する所がないから、日加間は先づ平和だらうと觀測されて居る

◇

ベネット首相の對加通告が輸入日本品の金額に從價三割三分三厘ノ一を課すればよいのであるから、日本品の金額に從價三割三分ノ一を加へた金額に對して三十三厘ノ關稅を納めればよいのであるから、日加通商は從來通りに行はれる事になるから、同胞社會が必要品として日本から輸入してゐる品物は從來なしと同じ値段で買へるのである、日本行の航路に依る貿易及び日加間の一般航空事業に對する影響も相當輕微であらう

◇

ベネット首相の對加通告が輸入日本品の金額に從價三割三分ノ一を課すればよいのであるから、日本品の金額に從價三割三分ノ一を加へた金額に對して三十三厘ノ關稅を納めればよいのであるから、同胞社會が必要品として日本から輸入してゐる品物は從來なしと同じ値段で買へるのである、日本行の航路に依る貿易及び日加間の一般航空事業に對する影響も相當輕微であらう

◇

ベネット首相は日加間通商條約の廢棄通告を發したらしく、昨夜遲くまで閣僚會議を開いたが、（勿論今日本ではカナダ品なるものは一ヶ月前から輸入中止してゐる）半月を經つたならソロソロその影響が國民の購買能力に現はれて來るだらう

◇

日加通商戰開始と共に日本ミカン相場は如何なる影響を受けるかと一般の關心を集めてゐるが、東京市民が一年に食ふミカンは百餘萬貫、約五百萬圓である

×

〈遞信省は經費二億三千萬圓、十ケ年の航空計畫を樹て來年度より着手するが、十ケ年の空の勇士千七百人を作り出す爲め省内にパイロット學校を新設、非常時には空の護りとなす

×

◇愛知縣西加茂郡三好村上空で今廿三日午後一時四十分空中演習と云つてゐる

◇

東京特電——二十日夜來京畿道を中心に降り續いた豪雨は本日正午も降り續き漢江の水位十メートルを突破、京城飛行場は泥海と化し使用不能、午後一時京元線不通となる、午後二時現在京畿道水害死者十二、負傷七、行方不明一、家屋倒壞七、床上浸水七百四十四、床下浸水千三百三十

陸軍異動は
或者に對し
遠慮と不滿あり

昨紙報道の如く今回の日本陸軍大異動では荒木寇相時代に滿洲（乘の出し）た幕僚は荒木大將を初め軍部內統制派に反對された幕僚、荒木大將、そして鬼門關の寄實次中將がバタ〳〵と倒れになつたがまだ多くの不滿の聲もある、此處左の如し

×

東京特電——陸軍異動を目逃すれば左の如し

◇教育總監渡（前荒木大將の後コンにゃくになつた眞崎甚三郎大將）

◇參謀次長（前荒木大將の後釜）杉山元中將（前教育總監）

◇第一師團長（前眞崎大將の後釜）植田謙吉中將（前參謀次長）

◇第六師團長（前林大將の後釜）小磯國昭中將（前軍務局長）

◇第十師團長（前眞崎大將の後釜）山岡重厚中將（前第一師團長）

◇第十二師團長（前林大將の後釜）牛島貞雄中將（前第六師團長）

◇第十四師團長（前眞崎大將の後釜）井出宣次中將（前第十師團長）

◇第十六師團長（前林大將の後釜）吉住良輔中將（前第十二師團長）

◇第十七師團長（前眞崎大將の後釜）松井石根大將（前軍事參議官）

◇第十八師團長（前荒木大將の後釜）川岸文三郎中將（前第十四師團長）

◇第二十師團長（前荒木大將の後釜）松井清中將（前第十七師團長）

◇第二十四師團長（前荒木大將の後釜）中島今朝吾中將（前第十八師團長）

◇第二十五師團長（前荒木大將の後釜）酒井隆中將（前第二十師團長）

◇第二十六師團長（前荒木大將の後釜）佐藤安之助中將（前第二十四師團長）

◇第二十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二十五師團長）

◇第二十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二十六師團長）

◇第二十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二十七師團長）

◇第三十師團長（前荒木大將の後釜）磯谷廉介中將（前第二十八師團長）

◇第三十二師團長（前荒木大將の後釜）山田乙三中將（前第二十九師團長）

◇第三十三師團長（前荒木大將の後釜）吉本貞一中將（前第三十師團長）

◇第三十四師團長（前荒木大將の後釜）土肥原賢二中將（前第三十二師團長）

◇第三十五師團長（前荒木大將の後釜）小松原道太郎中將（前第三十三師團長）

◇第三十六師團長（前荒木大將の後釜）西尾壽造中將（前第三十四師團長）

◇第三十七師團長（前荒木大將の後釜）磯谷廉介中將（前第三十五師團長）

◇第三十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三十六師團長）

◇第三十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三十七師團長）

◇第四十師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三十八師團長）

◇第四十一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三十九師團長）

◇第四十二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第四十師團長）

◇第四十三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第四十一師團長）

◇第四十四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第四十二師團長）

◇第四十五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第四十三師團長）

◇第四十六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第四十四師團長）

◇第四十七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第四十五師團長）

◇第四十八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第四十六師團長）

◇第四十九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第四十七師團長）

◇第五十師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第四十八師團長）

◇第五十一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第四十九師團長）

◇第五十二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第五十師團長）

◇第五十三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第五十一師團長）

◇第五十四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第五十二師團長）

◇第五十五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第五十三師團長）

◇第五十六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第五十四師團長）

◇第五十七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第五十五師團長）

◇第五十八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第五十六師團長）

◇第五十九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第五十七師團長）

◇第六十師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第五十八師團長）

◇第六十一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第五十九師團長）

◇第六十二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第六十師團長）

◇第六十三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第六十一師團長）

◇第六十四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第六十二師團長）

◇第六十五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第六十三師團長）

◇第六十六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第六十四師團長）

◇第六十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第六十五師團長）

◇第六十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第六十六師團長）

◇第六十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第六十七師團長）

◇第七十師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第六十八師團長）

◇第七十一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第六十九師團長）

◇第七十二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第七十師團長）

◇第七十三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第七十一師團長）

◇第七十四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第七十二師團長）

◇第七十五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第七十三師團長）

◇第七十六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第七十四師團長）

◇第七十七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第七十五師團長）

◇第七十八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第七十六師團長）

◇第七十九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第七十七師團長）

◇第八十師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第七十八師團長）

◇第八十一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第七十九師團長）

◇第八十二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第八十師團長）

◇第八十三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第八十一師團長）

◇第八十四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第八十二師團長）

◇第八十五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第八十三師團長）

◇第八十六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第八十四師團長）

◇第八十七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第八十五師團長）

◇第八十八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第八十六師團長）

◇第八十九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第八十七師團長）

◇第九十師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第八十八師團長）

◇第九十一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第八十九師團長）

◇第九十二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第九十師團長）

◇第九十三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第九十一師團長）

◇第九十四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第九十二師團長）

◇第九十五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第九十三師團長）

◇第九十六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第九十四師團長）

◇第九十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第九十五師團長）

◇第九十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第九十六師團長）

◇第九十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第九十七師團長）

◇第百師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第九十八師團長）

◇第百一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第九十九師團長）

◇第百二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百師團長）

◇第百三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百一師團長）

◇第百四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百二師團長）

◇第百五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百三師團長）

◇第百六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百四師團長）

◇第百七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百五師團長）

◇第百八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百六師團長）

◇第百九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百七師團長）

◇第百十師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百八師團長）

◇第百十一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百九師團長）

◇第百十二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百十師團長）

◇第百十三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百十一師團長）

◇第百十四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百十二師團長）

◇第百十五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百十三師團長）

◇第百十六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百十四師團長）

◇第百十七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百十五師團長）

◇第百十八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百十六師團長）

◇第百十九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百十七師團長）

◇第百二十師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百十八師團長）

◇第百二十一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百十九師團長）

◇第百二十二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百二十師團長）

◇第百二十三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百二十一師團長）

◇第百二十四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百二十二師團長）

◇第百二十五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百二十三師團長）

◇第百二十六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百二十四師團長）

◇第百二十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百二十五師團長）

◇第百二十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百二十六師團長）

◇第百二十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百二十七師團長）

◇第百三十師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百二十八師團長）

◇第百三十一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百二十九師團長）

◇第百三十二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百三十師團長）

◇第百三十三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百三十一師團長）

◇第百三十四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百三十二師團長）

◇第百三十五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百三十三師團長）

◇第百三十六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百三十四師團長）

◇第百三十七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百三十五師團長）

◇第百三十八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百三十六師團長）

◇第百三十九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百三十七師團長）

◇第百四十師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百三十八師團長）

◇第百四十一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百三十九師團長）

◇第百四十二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百四十師團長）

◇第百四十三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百四十一師團長）

◇第百四十四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百四十二師團長）

◇第百四十五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百四十三師團長）

◇第百四十六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百四十四師團長）

◇第百四十七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百四十五師團長）

◇第百四十八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百四十六師團長）

◇第百四十九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百四十七師團長）

◇第百五十師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百四十八師團長）

◇第百五十一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百四十九師團長）

◇第百五十二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百五十師團長）

◇第百五十三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百五十一師團長）

◇第百五十四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百五十二師團長）

◇第百五十五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百五十三師團長）

◇第百五十六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百五十四師團長）

◇第百五十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百五十五師團長）

◇第百五十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百五十六師團長）

◇第百五十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百五十七師團長）

◇第百六十師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百五十八師團長）

◇第百六十一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百五十九師團長）

◇第百六十二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百六十師團長）

◇第百六十三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百六十一師團長）

◇第百六十四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百六十二師團長）

◇第百六十五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百六十三師團長）

◇第百六十六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百六十四師團長）

◇第百六十七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百六十五師團長）

◇第百六十八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百六十六師團長）

◇第百六十九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百六十七師團長）

◇第百七十師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百六十八師團長）

◇第百七十一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百六十九師團長）

◇第百七十二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百七十師團長）

◇第百七十三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百七十一師團長）

◇第百七十四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百七十二師團長）

◇第百七十五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百七十三師團長）

◇第百七十六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百七十四師團長）

◇第百七十七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百七十五師團長）

◇第百七十八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百七十六師團長）

◇第百七十九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百七十七師團長）

◇第百八十師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百七十八師團長）

◇第百八十一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百八十師團長）

◇第百八十二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百八十一師團長）

◇第百八十三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百八十二師團長）

◇第百八十四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百八十三師團長）

◇第百八十五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百八十四師團長）

◇第百八十六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百八十五師團長）

◇第百八十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百八十六師團長）

◇第百八十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百八十七師團長）

◇第百八十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百八十八師團長）

◇第百九十師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百八十九師團長）

◇第百九十一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百九十師團長）

◇第百九十二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百九十一師團長）

◇第百九十三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百九十二師團長）

◇第百九十四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百九十三師團長）

◇第百九十五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百九十四師團長）

◇第百九十六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百九十五師團長）

◇第百九十七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百九十六師團長）

◇第百九十八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第百九十七師團長）

◇第百九十九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第百九十八師團長）

◇第二百師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第百九十九師團長）

◇第二百一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百師團長）

◇第二百二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百一師團長）

◇第二百三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百二師團長）

◇第二百四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百三師團長）

◇第二百五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百四師團長）

◇第二百六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百五師團長）

◇第二百七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百六師團長）

◇第二百八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百七師團長）

◇第二百九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百八師團長）

◇第二百十師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百九師團長）

◇第二百十一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百十師團長）

◇第二百十二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百十一師團長）

◇第二百十三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百十二師團長）

◇第二百十四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百十三師團長）

◇第二百十五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百十四師團長）

◇第二百十六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百十五師團長）

◇第二百十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百十六師團長）

◇第二百十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百十七師團長）

◇第二百十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百十八師團長）

◇第二百二十師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百十九師團長）

◇第二百二十一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百二十師團長）

◇第二百二十二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百二十一師團長）

◇第二百二十三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百二十二師團長）

◇第二百二十四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百二十三師團長）

◇第二百二十五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百二十四師團長）

◇第二百二十六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百二十五師團長）

◇第二百二十七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百二十六師團長）

◇第二百二十八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百二十七師團長）

◇第二百二十九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百二十八師團長）

◇第二百三十師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百二十九師團長）

◇第二百三十一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百三十師團長）

◇第二百三十二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百三十一師團長）

◇第二百三十三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百三十二師團長）

◇第二百三十四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百三十三師團長）

◇第二百三十五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百三十四師團長）

◇第二百三十六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百三十五師團長）

◇第二百三十七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百三十六師團長）

◇第二百三十八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百三十七師團長）

◇第二百三十九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百三十八師團長）

◇第二百四十師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百三十九師團長）

◇第二百四十一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百四十師團長）

◇第二百四十二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百四十一師團長）

◇第二百四十三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百四十二師團長）

◇第二百四十四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百四十三師團長）

◇第二百四十五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百四十四師團長）

◇第二百四十六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百四十五師團長）

◇第二百四十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百四十六師團長）

◇第二百四十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百四十七師團長）

◇第二百四十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百四十八師團長）

◇第二百五十師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百四十九師團長）

◇第二百五十一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百五十師團長）

◇第二百五十二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百五十一師團長）

◇第二百五十三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百五十二師團長）

◇第二百五十四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百五十三師團長）

◇第二百五十五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百五十四師團長）

◇第二百五十六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百五十五師團長）

◇第二百五十七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百五十六師團長）

◇第二百五十八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百五十七師團長）

◇第二百五十九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百五十八師團長）

◇第二百六十師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百五十九師團長）

◇第二百六十一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百六十師團長）

◇第二百六十二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百六十一師團長）

◇第二百六十三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百六十二師團長）

◇第二百六十四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百六十三師團長）

◇第二百六十五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百六十四師團長）

◇第二百六十六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百六十五師團長）

◇第二百六十七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百六十六師團長）

◇第二百六十八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百六十七師團長）

◇第二百六十九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百六十八師團長）

◇第二百七十師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百六十九師團長）

◇第二百七十一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百七十師團長）

◇第二百七十二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百七十一師團長）

◇第二百七十三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百七十二師團長）

◇第二百七十四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百七十三師團長）

◇第二百七十五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百七十四師團長）

◇第二百七十六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百七十五師團長）

◇第二百七十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百七十六師團長）

◇第二百七十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百七十七師團長）

◇第二百七十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百七十八師團長）

◇第二百八十師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百七十九師團長）

◇第二百八十一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百八十師團長）

◇第二百八十二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百八十一師團長）

◇第二百八十三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百八十二師團長）

◇第二百八十四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百八十三師團長）

◇第二百八十五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百八十四師團長）

◇第二百八十六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百八十五師團長）

◇第二百八十七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百八十六師團長）

◇第二百八十八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百八十七師團長）

◇第二百八十九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百八十八師團長）

◇第二百九十師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百八十九師團長）

◇第二百九十一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百九十師團長）

◇第二百九十二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百九十一師團長）

◇第二百九十三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百九十二師團長）

◇第二百九十四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百九十三師團長）

◇第二百九十五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百九十四師團長）

◇第二百九十六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百九十五師團長）

◇第二百九十七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百九十六師團長）

◇第二百九十八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第二百九十七師團長）

◇第二百九十九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第二百九十八師團長）

◇第三百師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第二百九十九師團長）

◇第三百一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百師團長）

◇第三百二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百一師團長）

◇第三百三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百二師團長）

◇第三百四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百三師團長）

◇第三百五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百四師團長）

◇第三百六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百五師團長）

◇第三百七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百六師團長）

◇第三百八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百七師團長）

◇第三百九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百八師團長）

◇第三百十師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百九師團長）

◇第三百十一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百十師團長）

◇第三百十二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百十一師團長）

◇第三百十三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百十二師團長）

◇第三百十四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百十三師團長）

◇第三百十五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百十四師團長）

◇第三百十六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百十五師團長）

◇第三百十七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百十六師團長）

◇第三百十八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百十七師團長）

◇第三百十九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百十八師團長）

◇第三百二十師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百十九師團長）

◇第三百二十一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百二十師團長）

◇第三百二十二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百二十一師團長）

◇第三百二十三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百二十二師團長）

◇第三百二十四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百二十三師團長）

◇第三百二十五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百二十四師團長）

◇第三百二十六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百二十五師團長）

◇第三百二十七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百二十六師團長）

◇第三百二十八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百二十七師團長）

◇第三百二十九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百二十八師團長）

◇第三百三十師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百二十九師團長）

◇第三百三十一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百三十師團長）

◇第三百三十二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百三十一師團長）

◇第三百三十三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百三十二師團長）

◇第三百三十四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百三十三師團長）

◇第三百三十五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百三十四師團長）

◇第三百三十六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百三十五師團長）

◇第三百三十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百三十六師團長）

◇第三百三十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百三十七師團長）

◇第三百三十九師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百三十八師團長）

◇第三百四十師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百三十九師團長）

◇第三百四十一師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百四十師團長）

◇第三百四十二師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百四十一師團長）

◇第三百四十三師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百四十二師團長）

◇第三百四十四師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百四十三師團長）

◇第三百四十五師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百四十四師團長）

◇第三百四十六師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百四十五師團長）

◇第三百四十七師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百四十六師團長）

◇第三百四十八師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百四十七師團長）

◇第三百四十九師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百四十八師團長）

◇第三百五十師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百四十九師團長）

◇第三百五十一師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百五十師團長）

◇第三百五十二師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百五十一師團長）

◇第三百五十三師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百五十二師團長）

◇第三百五十四師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百五十三師團長）

◇第三百五十五師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百五十四師團長）

◇第三百五十六師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百五十五師團長）

◇第三百五十七師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百五十六師團長）

◇第三百五十八師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百五十七師團長）

◇第三百五十九師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百五十八師團長）

◇第三百六十師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百五十九師團長）

◇第三百六十一師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百六十師團長）

◇第三百六十二師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百六十一師團長）

◇第三百六十三師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百六十二師團長）

◇第三百六十四師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百六十三師團長）

◇第三百六十五師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百六十四師團長）

◇第三百六十六師團長（前荒木大將の後釜）小藤恵中將（前第三百六十五師團長）

◇第三百六十七師團長（前荒木大將の後釜）佐野忠義中將（前第三百六十六師團長）

◇第三百六十八師團長（前荒木大將の後釜）山脇正隆中將（前第三百六十七師團長）

◇第三百六十九師團長（前荒

（八十二）

△前回迄(11)

翌が、国男とも、あの容貌のことには触れずに、初対面のふうを装うと、同時に決心して、お光がにつこりと、

「お父つあんは留守ですの？　さうでも、こゝわたしの家ですから、上りますわよ。」

「はゝ、さうを。」

と糸枝は怖づ怖づと身を退いてお光を通した。

相手が同作の娘である上、その家の玄関になつてゐる自分としては、どこまでも下手に出なければなるまい——糸枝はさう思つて「あの、ちよつと近處へ用達しにあらつしやいましたから、もう直ぐにお帰りになると思ひますけれども。」

「さうですか。べつに用はないんですの。あんまり久しく寄りつかなかつたものですから、ちよつと親孝行をしようと思ひついて、ほゝゝゝ。」

お光は糸枝に氣兼をさせまいと打ちとけた調子でのべつに饒舌りながら、手火鉢のむかうの、何時もの例作の座蒲團へ坐つて、

「思ひ出した時にぶらつとやつて來るなんて、ずゐぶん身勝手な親孝行でせう？　ほゝゝ、親孝行つたつて、ちよつと顔を見せればいゝんですの。貧本のかゝらない親孝行、ほゝゝゝ。」

口にまかせてそんなことをいひ乍ら、お光はいそいで糸枝を觀察した。

白い手を膝の上に重ねて、肩を細くして坐つてゐる姿。お光などのあまり見たこともない、派手な花模様の着物の上に、縞柄の細かい羽織に、髪は無造作に束ねて、ちつとうつ伏いた眼には、長い睫が可愛く掩ひつゝある。

お光は、自分とは余程違ふ世界のその女性を眼の前にして、何かしら新鮮な果物を見るやうな感じを受けた。

父どその娘さんを結びつけて考へてなんて、飛んでもない思ひ違ひをしたものだと、氣がついた。

そんなことを簡單にきめてしまふ自分にあきれずに、いつの間にか自分も、低くさうした考へ方をするやうになつてゐるのだらうと、お光は、自分が恥かしくてたまらなくなつた。

長くつゞく沈默に堪へかねて、ちらと眼を上げた糸枝は、お光が真つ赤になつて横を向いてゐるのを見て、何うしたのだらうと思つた。

とにかく、挨拶をしなくては悪いだらうと、糸枝は、今更になつて、思ひ出したやうにあらためて、

「あの、あたくし、田邊糸枝と申します。この度は思ひがけないことから、お父さまに いろ〳〵御厄介になりまして、ほんとうに、お禮の申し上げやうもございませんの。」

「あら、そんな固苦しいこと、あたし、困つちやふわ。まあ、どうしたらいゝでせう——。」

お光はでさまさして、

「まあ、うちのお父つあん、お父様なんて何ぢやありませんわ。お父さんなんですの。あなた御存じでせう？」

とお光は、又しても同作のおでんやばかり氣にしてゐる。

「とても御親切にして下さいまして、あたくし、もう自分の家のやうな氣がして。」

「あなた同處ですの？　田舎ぢや東京のうちでせう？」

糸枝はつとして、また眼を伏せた。傍に同作に、大體の事を話してある以上、嘘はいへないので、

「はゝ、本郷ですの。」

「まあ、本郷？　一足ぢやありませんか。何故お宅へお帰りにならないで、こんな汚いところに泊つてらつしやるの？　どうしてうちのお父さんを御存じですの？」

深い事情がありさうだから、短慮に訊かないはうがいゝかも知れないと思ひながら、お光は、さう聞かけずにはゐられなかつた。

□科學灸治療如何なる慢性病でも効果あるのは本療法であります　男女諸病一切

先祖傳來　名灸及骨接筋違

▽子供のかんの灸　晩市プリンセス街二四一

電話ハイランド三〇四二エル　鎌倉

紙類及文房具卸商

晩市ホーマー街九九六
電話ツリニテー二五三一
COLUMBIA PAPER CO. LTD.

各種ケーキ類

特に日本人向きに調製致します
洋菓子類一切製造
晩市内は多少に拘らず配達します
バウエル街三四二

パウエルベーカリー

布田惣一
電話ダグラス五五三一
住宅西第七〇街一八九
自宅マーポール六〇七エル

B. C. WOOD & COAL CO.

割薪値段

▲インサイドファー　一コード　六、五〇〇
　同　半　三、五〇〇
▲同　三等品　一コード　四、七五〇
　半　同　二、七五〇
御電話下されば早速お届けします

ビーシー薪炭

電話ハイランド九一五

TYEE LUMBER WOOD & COAL LTD.

上最薪炭

電話ハイ一三八三
バウエル街二一七五
タイー薪炭商會

荷物運搬は
凡て確實
親切
勉強で
舒暢な

運送社へ

晩市バウエル街四六三
電話ハイ一五六六

電話シー三三昭和倶樂部

晩香坡市バウエル街三八〇
事務所用　電話ドグラス五五二三

和洋雜貨食料品

東洋商業會社

P.O. Box 46, Port Essington, B.C.
主　大橋松次郎

ブリキ細工

ブラマー仕事

バウエル街四五七
西畑ブリキ工場
電話ハイランド四二六

和洋雜貨食料品

漁船金具一切

ボートエシントン郵區二七
龜田商店
P. O. Box 27
Port Essington, B.C

CHOP SUEY

大衆的南京料理

朝日チヤヅツ

バウエル街三五八　電話ツリニチ　一七二三

高等南京料理

コックは此の道の腕さきで料理は皆様のお口に合ふやう
美味に調理　値段は大々的勉强

晩香坡市バウエル街三八二

新南京樓

電話シーモア七八七五

高等南京料理

日本人諸君の御來店を歡迎仕候

晩香坡市バウエル街二五二

新北京

電話シー五七七四　同三五一七

新着御案内

皆様御待兼ねの菊水葵目方賣が着きました
本年度新筍　二斤　廿五仙
本年度の晩香坡正宗は大さうよく出來たとの事です
當店では其のよい酒粕を特價で販賣致してをります
御漬物用としても是非おためし下さい

晩市バウエル街四六九
「味の華」一手販賣　ユニオン魚店
電話ハイ一三三五—一三三六

臭ひの止まる
ワキガの藥
蘭香（二、〇〇）
防臭法の最良藥

蘭香がワキガの名藥として近頃一層盛んに用ひられてきたのは、これさへつけておけば、そんなにひどい臭ひも少しも人に知られずに濟むからです、あれこれと試して見て結局これが最良の手當法となるからであります
ワキガの方は苦しい思ひをなさる事はありません、蘭香さへ御付けになれば……

うばかす、シミに
ソバカス・クリーム

如何なる原因に依つて發生したるソバカスに用ゐても漸次に拭ふが如く除去し絶對に皮膚を害しません、又シミを去り色を白くする卓効があり、ハタケを治し皮膚を淨化する作用もあります　定價　六十五仙

晩市バウエル街三三一
邦樂レコード各種　新兒商會
電話ダグラス三一一二

須らく良藥を選擇すべし

▲エキレース＝有効なるわきが專門藥にして何等の不快や刺激はなく僅少量を塗布すると同時に惱みは解消す　一弗、二弗
▲ハール＝不思議な脫毛料ハールは用ひた後が非常に滑らかで一毛も殘さず安全絶對無害　一弗七十仙
▲パミール＝一滴は美はしの瞳を守る騎士として更に一滴はチヤーミングな黒水晶の瞳を創造する美眼藥　五十仙、一弗、一弗八十仙
▲カーク錠＝御心配なく、ふとり過ぎでお惱みの方は服用あれ、決して捨て置いてはいけません、從來の此種藥品の長を採り短を補ない絶對に副作用なく、最高の有効率を具備する理想的やせ藥です　三弗
▲療鼻湯＝鼻病界未曾有の有効藥にして他の如何なる藥を試みても効果を見なかつた難症が本劑で全快し續々と各方面から稱讃と感謝を受けてゐます　九十仙
▲エンツアイマ＝胃腸藥の變り種、從來の化學製劑とは全然異り治療、榮養、豫防の三作用をなす最新胃腸結合藥　一弗六十仙
△素人懸賞寫眞競技大會續行中—奮つて參加あれ▽
カメラ。附屬品並に材料。現像、燒付、引伸迅速。大勉强

晩市バウエル街三九〇　電話シー四七六八

特許賣藥店　近藤

O KONDO 390 Powell St Vancouver B. C.

醫士　林弼臣　廣告

專門　挫骨、打撲傷、斬傷、腫物、筋痛、るいれき、痔漏、火傷、脫腸、血便、殊に打撲關節の痛み等は如何なる重症と雖根治し猶接骨の技術に就ては既に日本人各位御熟知の事に候
東ベンダー街九二　電話シーモア三六二七

日本人公認醫

下高原醫院

ドクトル　下高原幸藏
ドクトル　上高原廣
事務所　バウエル街メーン街角
電話　事務所ダグ五五五五
同　自宅ベビユー二四〇六
不在中は高原商會へ

内田醫院

ドクトル　内田又三郎
事務所バウエル街四三九
電話　ハイランド二九三
住宅　ハイ一六八六アール

東ヘスチングス街一九三
ドウソン建築内三一八號室
ドクトル　下倉貢
電話　シーモア三三一六
シーモア六一九〇
住宅ドグラス四七八五アール

ステブストン金物商　電話九一

秋本重則

長男重信儀過日高い處より墜落し右腕骨を折り林醫士にお願した所二週間にて全治し感謝して居ます若し骨を折つたりクジイたり又スヂの痛む人は林醫士の診察をお勸め致します

ステブストン

村上淺松

小生儀家屋修繕中手を酷く打ち林醫士の治療を受けし處僅か一週間にて疼痛も去り完全に快癒仕り玆に謝意を表し候

今回ステブストン日本人各位の御便宜と御經濟を考へまして接骨、挫骨、筋違其他一般外科治療御希望の方は秋本金物店迄お申込下されば何時にても同店まで旅費無料にて出張し晩市と同樣の費用にて治療に應じますから同店まで御申込下さい

醫士　林弼臣

跋渡天狗

（四）—（五六）—（四）

大河内翠山作
楢崎酔暢畫

新三郎は、直ぐ様駕籠を雇い、取るものも取敢ず、駕籠を急がせて、府中の藤田小四郎の宿屋を訪ねた。

小「オ、新三郎か、サア上れ。」

新三郎は招かれて座敷へ通つた。

新「先刻は多額の御恵、有難く存じます。」

小「ナニ其の少しばかり、それ程に云はれる程の事ではない。時に新三郎、何か急用でもあつて出掛けたか。」

新「イエ、少々先生にお願ひがございまして態々態々越しました。」

といつて国事を説いた。

小「願ひなら、改まつて、どんな事でござるの。」

新「先生、私をどうか同志の中へお加へ下さいまし。」

小「ナニ、同志の中へ――」

小四郎は、新三郎の顔を見詰めた。

新「イエ、御疑ひでありませう。」

小「ナニ、近頃の世相の傾斜、先生初め正義派の方々は、義勇の旗をお挙げになるとの事、承はりましたから、どうか私も其の同志の中に加つて、思ふ存分働きたく態々参りました。どうか先生お聴き済みを願ひます。私は身軽い浪人でござり手軽いが、御家の御恩は忘れません。又先生の御恩は、終生までも忘れません。」

新「それではどうあつても、平前の御決心、動かし難いと見えるな。」

小「別に加へる必要も加はる必要もないやはないか。」

新「どうあつても――」

新三郎は落胆したやうな面色に涙をさへ浮べて居る。

小四郎も新三郎の志しは感じないでもなかつた。嬉しくも思つた。けれども是迄の身分にある者にはイザとなつた時に固い決心がつくかどうかは疑問であつた。身分は軽くとも新三郎の決心は固いかも知れぬ。同志の中に入れて善いづかしくない者であらうけれども、彼は今、年老つた父を抱へてゐる。父の主人を捨つてやらねばならぬ境遇にある。今回志に加へて新三郎の一身に萬一の事があつたら父や主人がどんなに落胆するであらう。今主人が大病で其の薬にさへ困つてゐる。自分は其の金を恵んでやつたのだ、さうした父や主人を殺して同志に加へる事は、情を知る小四郎にはどうしても出来なかつた。

小「さうした時機もあつたらむ許も致す、今日はお帰りなさい。」

新「ハイ、先生が御承知下さらなければ致方ござらぬ。御邪魔致しました。」

新三郎は悄然にうつて小四郎の顔を見上げる。

小「イヤ川岡、貴公何處で其の様な事を聞いて来たか知らぬが、何も其の様な事はない。」

小四郎は声を上げて笑ひ出した。

新三郎は恐縮にうつて小四郎の顔を見上げる。

小「アハヽヽ。」

小四郎は声を上げて笑ひ出した。

新「先刻は多額の御恵、有難く存じます。」

小「ナニ其の少しばかり、それ程に云はれる程の事ではない。時に新三郎、何か急用でもあつて出掛けたか。」

新「イエ、少々先生にお願ひがございまして態々態々越しました。」

といつて国事を説いた。

小「願ひなら、改まつて、どんな事でござるの。」

新「先生、私をどうか同志の中へお加へ下さいまし。」

小「ナニ、同志の中へ――」

小四郎は、新三郎の顔を見詰めた。

新「イエ、御疑ひでありませう。」

小「ナニ、近頃の世相の傾斜、先生初め正義派の方々は、義勇の旗をお挙げになるとの事、承はりましたから、どうか私も其の同志の中に加へて頂きたく態々参りました。どうか先生お聴き済みを願ひます。私は身軽い浪人でござり手軽いが、御家の御恩は忘れません。又先生の御恩は、終生までも忘れません。」

新「それではどうあつても、平前の御決心、動かし難いと見えるな。」

小「別に加へる必要も加はる必要もないやはないか。」

新「どうあつても――」

新三郎は落胆したやうな面色に涙をさへ浮べて居る。

小四郎も新三郎の志しは感じないでもなかつた。嬉しくも思つた。けれども是迄の身分にある者にはイザとなつた時に固い決心がつくかどうかは疑問であつた。身分は軽くとも新三郎の決心は固いかも知れぬ。同志の中に入れて善いづかしくない者であらうけれども、彼は今、年老つた父を抱へてゐる。父の主人を捨つてやらねばならぬ境遇にある。今回志に加へて新三郎の一身に萬一の事があつたら父や主人がどんなに落胆するであらう。今主人が大病で其の薬にさへ困つてゐる。自分は其の金を恵んでやつたのだ、さうした父や主人を殺して同志に加へる事は、情を知る小四郎にはどうしても出来なかつた。

小「さうした時機もあつたらむ許も致す、今日はお帰りなさい。」

新「ハイ、先生が御承知下さらなければ致方ござらぬ。御邪魔致しました。」

新三郎は悄然にうつて小四郎の顔を見上げる。

小「ナニ、何か急用でもあつて出掛けたか。」

新「イエ、少々先生にお願ひがございまして態々態々越しました。」

といつて国事を説いた。

小「願ひなら、改まつて、どんな事でござるの。」

新「先生、私をどうか同志の中へお加へ下さいまし。」

小「ナニ、同志の中へ――」

小四郎は、新三郎の顔を見詰めた。

新「イエ、御疑ひでありませう。」

小「ナニ、近頃の世相の傾斜、先生初め正義派の方々は、義勇の旗をお挙げになるとの事、承はりましたから、どうか私も其の同志の中に加へて頂きたく態々参りました。どうか先生お聴き済みを願ひます。私は身軽い浪人でござり手軽いが、御家の御恩は忘れません。又先生の御恩は、終生までも忘れません。」

新「それではどうあつても、平前の御決心、動かし難いと見えるな。」

小「別に加へる必要も加はる必要もないやはないか。」

新「どうあつても――」

新三郎は落胆したやうな面色に涙をさへ浮べて居る。

小四郎も新三郎の志しは感じないでもなかつた。嬉しくも思つた。けれども是迄の身分にある者にはイザとなつた時に固い決心がつくかどうかは疑問であつた。身分は軽くとも新三郎の決心は固いかも知れぬ。同志の中に入れて善いづかしくない者であらうけれども、彼は今、年老つた父を抱へてゐる。父の主人を捨つてやらねばならぬ境遇にある。今回志に加へて新三郎の一身に萬一の事があつたら父や主人がどんなに落胆するであらう。今主人が大病で其の薬にさへ困つてゐる。自分は其の金を恵んでやつたのだ、さうした父や主人を殺して同志に加へる事は、情を知る小四郎にはどうしても出来なかつた。

小「さうした時機もあつたらむ許も致す、今日はお帰りなさい。」

新「ハイ、先生が御承知下さらなければ致方ござらぬ。御邪魔致しました。」

新三郎は悄然にうつて小四郎の顔を見上げる。

小「イヤ川岡、貴公何處で其の様な事を聞いて来たか知らぬが、何も其の様な事はない。」

小四郎は声を上げて笑ひ出した。

小「アハヽヽ。」

小四郎は声を上げて笑ひ出した。

新三郎は悄然にうつて小四郎の顔を見上げる

海中に相寄る死體！！

愛人と抱合心中した女の死体が別の男の死体を抱いて漂着

死體の三角關係か

五日正午頃鎌子ヶ浦沖合約一浬の海上に男女の死體が浮いてゐるのを發見、直ちに漁船で引揚げられたが、女は二十五六歳の美人、男は三十二三歳の洋服姿で、二人とも固く抱き合つた儘死後相當の日數を經過してゐるらしく、男の顔面は腐敗して判別し難く、女の顔面は比較的綺麗であるが、兩人とも着衣は一切なく、女は男の右腕を枕にし、男は女の左腕を枕にしてゐるが、兩人の左手は堅く握り合つてゐる、兩人の身體には何等の傷痕もなく、女の左手の薬指には金の指輪が嵌つてゐるが、男の指には何等の指輪もなく、兩人の身元は全く不明である、尚兩人の死體は鎌子ヶ浦の海岸に打揚げられた儘、警察官が取調べてゐるが、兩人の身元は全く不明である、尚兩人の死體は鎌子ヶ浦の海岸に打揚げられた儘、警察官が取調べてゐるが、兩人の身元は全く不明である

外國怪談　墓中の蘇生

◇埋葬された男

この事件はロシヤのペテルブルグ地方で次のやうな聞くも恐ろしい出來事が傳へられてゐた、埋葬は始まつた、墓の重い蓋石が取り除かれると二個の棺が穴の底にあつた見たが上の方の父親の棺のふたは意外にも破られ中には父親の亡骸は見えず、二個の棺の下の穴の中に父親の骨が横たはつてゐた、これを見た會葬の人々は驚いて仰天となつて慄へ上つた

不思議

なぞには心中の相手の愛人用意の棺に既に打揚られて商船會社の倉庫に安置してあるのに、なつさんが固く抱いてゐる死體は黒サージの洋服二十五六歳の美貌の男であつた二つの死體が誤にもされてゐる中に相違ないが、偶然からなつたものとは思はれるが、なつさんが婦女だつたばかりに死體の引渡しが、遺族の熱烈なる大人は怪奇な想像に耽るなどふるつてゐる、男の身許は所持してゐた手帳、名刺、グランド商會三等運轉手某により判明したが、女の身許は未だ判明せず、遺族の申出もないので五日までに七名に上つてゐる

文部省の色刷り讀本

大きな間違ひ

「色ずり挿繪」を鉛うつて發行された文部省自慢の新小學國語讀本中の「色ずり挿繪」に大變な間違ひがあります——岡山市内山下、木村源吉といふラヂオ體操の指導者から「綴方讀本四」の扉繪が山羊の繪になつてゐるが八月末迄には一氣に完成する事となつた

日曜學校を開始

第三會衆公會にては本日午前八時より毎日曜學校を開き中山牧師主任となつて日本語を主とし讀方、作文、會話等を教授し午後は野外にて兒童中心の樂しいピクニックをなすと希望者は年齢の制限なく出席を望むと

夏期學校を開始

一昨日本人クリニング組合の廿周年記念祝賀式に表彰された人々は次の諸氏である

（ポートエリングトン通信）スキーナ日本語學校では今回創立七周年に當り夏期學校を開き中山牧師を聘して、毎日午後一時より四時迄日本語及び日本歴史の教授をなすことゝなつてゐるが、今回は特に米國人の子弟のみならず、廣く一般の希望者にも門戸を開放することゝなつてゐる

表彰された人々

（シドニー通信）昨日本人クリニング組合の廿周年記念祝賀式に表彰された人々は次の諸氏である

猪瀬泰次、中塚金次、秋山龜太郎、竹原熊吉、岡崎清助、中塚一郎、前田善次郎、杉山與太郎、荒井市二、二階堂義、竹原繁、水谷儀一郎、馬場惣助、川合將三郎、新井孝三、西村善五郎、柳本篤次、德永重喜、鈴木利三佐藤新一、宮澤八郎、中元秋藏、久保田、清水久吉、御手洗正哉、花田金季、矢野清視、山口操一、大隈千助、平山貞市、蒜野林藏、手島佐四郎、中元宋一

日協會の役員會

（ルバート通信）去る四日日本ホールに常任役員會が開催され、左記の如く當地日本人會では去十七日多數の白人ピッカーを引連れてホワイトロックでピクニックを催したが女共氣に惠まれ海に丘に一日を愉快に過ごした（オーエス生）

△マーボル佛教會盆會　來る廿八日（日曜）午後二時よりマーボル佛教會に於て婦人會主催の下に、本派川崎、フエヤビユー原兩開教使を招き、盆法會を執行する

△四重福祉修明會　今晩七時半より本教會に於て特別新婦會を開催す、說教は中山、東兩牧師一般の來會を歡迎す

語學校母姉會

サンランプ日本語校では去る十九日午後七時半より母姉會例會が開催され、所定の事項終了、引續き九時より山成婦松岡女史の成功の成立といふ、題目の下に平通婦及び實驗談につき座談的並に質問的に各自の經驗に關して徹に入り細に渡つて最も熱心に有益な會合があり、修了に際より三の餘興あり、最後に慈善會の催しがあつて散會した

少女誘拐罪で比島人を收監

日本娘と駈落した男の末路

加州の日本娘異變

（サンノゼ通信）過日ギロイより十七歳の日本娘と駈落して世間を騒がせた比島人デヨネ・チヤピアは當市附近のミルピタスに潜伏中を逮捕され少女誘拐罪で郡監獄に收監された、同氏のいひ分によると、大膽な戰法で若人の意氣を見せて貰ひたい。

◇……お隣の沙市では、暑さ凌ぎのお愛嬌でもあるまいが、男女混同で「オシメ替へ」の競爭をやつた。競技に參加したのは男十二人、女十二人

◇……オシメ替へは女の職業だから十秒位のハンディキャップを男に與へなど言つて居つたが、さて愈〻となると廿九才のラブ君と云ふ男が勝つた、こんなに子供をラブしてゐると云ふ譯か

戀にやぶれた……十八娘の行狀記

エロ師の手先となる

複雜化して行く現代相は多種多樣に人生環境を支配し血縁の姉妹で育てられたが此の春既に戀愛に陷つてゐた、麗しき姉妹美子さんは東大獨文科出身現在杉並區阿佐ヶ谷矢野日大講師と結婚したが此の頃病弱であつた君子さんは姉の結婚父の經濟的困窮に自活しようと高圓寺の喫茶店に勤め眞面目で評判ではあつたがエ〻某大學豫科學生と戀に陷つたが年少と學生の不眞面目と認めた父は之れが戀愛を許さなかつたので當ない怙しい世と今まで眞面目で勤めて來た氣持も自暴に陷り諸〻を放浪遂に喧噪な街、醉ひどれアは當市附近のミルピタスに潜伏中を逮捕され少女誘拐罪で郡監獄に收監された、同氏のいひ分によると、大膽な戰法で若人の意氣を見せて貰ひたい。

◇……お隣の沙市では、暑さ凌ぎのお愛嬌でもあるまいが、男女混同で「オシメ替へ」の競爭をやつた。競技に參加したのは男十二人、女十二人

◇……オシメ替へは女の職業だから十秒位のハンディキャップを男に與へなど言つて居つたが、さて愈〻となると廿九才のラブ君と云ふ男が勝つた、こんなに子供をラブしてゐると云ふ譯か

戀にやぶれた……十八娘の行狀記

エロ師の手先となる

複雜化して行く現代相は多種多樣に人生環境を支配し血縁の姉妹で育てられたが此の春既に戀愛に陷つてゐた、麗しき姉妹美子さんは東大獨文科出身現在杉並區阿佐ヶ谷矢野日大講師と結婚したが此の頃病弱であつた君子さんは姉の結婚父の經濟的困窮に自活しようと高圓寺の喫茶店に勤め眞面目で評判ではあつたがエ〻某大學豫科學生と戀に陷つたが年少と學生の不眞面目と認めた父は之れが戀愛を許さなかつたので當ない怙しい世と今まで眞面目で勤めて來た氣持も自暴に陷り諸〻を放浪遂に喧噪な街、醉ひどれアは當市附近のミルピタスに潜伏中を逮捕され少女誘拐罪で郡監獄に收監された、同氏のいひ分によると、大膽な戰法で若人の意氣を見せて貰ひたい。

◇……お隣の沙市では、暑さ凌ぎのお愛嬌でもあるまいが、男女混同で「オシメ替へ」の競爭をやつた。競技に參加したのは男十二人、女十二人

◇……オシメ替へは女の職業だから十秒位のハンディキャップを男に與へなど言つて居つたが、さて愈〻となると廿九才のラブ君と云ふ男が勝つた、こんなに子供をラブしてゐると云ふ譯か

癌の發見

清水式灸點探索施灸電氣診斷器使用

清水理化學研究所に於て講習修了百發百中の清水式電氣診斷器に依り施灸致します

神經痛、リウマチス、腦病、胃腸病、ゼンソク、肋膜炎、婦人病、その他諸病

午前九時より午後八時迄施灸

晩市パウエル街三六五

西村果物店内

近澤信次

趣味の罐づめ……

ピクニック——一家團欒に!!

——素敵な日本レコードを——

◇流行唄

（氣まぐれ冠者）東海林太郎
（山賊の合唱）ボリドール リズムボーイス
（天城曇れば）東海林太郎
（波浮は夕凪）松島詩子
（友よ何處）東海林太郎
（海のみなしご）伊藤久男 梅
（おぼろ月夜）松平晃 二三吉
（たそがれ唄よ）上野靜夫 小梅
（大地の春）明本京靜 九山和歌子
（流るゝ雲よ）二三吉
（西郷節）中野忠晴 九山和歌子
（仇すがた）
（花は一重よ）伊藤久男 梅
（春雨くづし）松平晃 二三吉
（涯なき想ひ）上野靜夫 小梅
（戀の紅椿）明本京靜 九山和歌子
（鷗の夢歌）二三吉
（惜しむ背春）中野忠晴 九山和歌子
（旅は鼻唄）
（ふたり旅）
（友よ何處）
（海のみなしご）
（おぼろ月夜）
（たそがれ唄よ）
（大地の春）
（流るゝ雲よ）
（西郷節）
（仇すがた）
（花は一重よ）
（春雨くづし）
（涯なき想ひ）
（戀の紅椿）
（鷗の夢歌）
（惜しむ背春）
（旅は鼻唄）
（ふたり旅）
（可愛い坊や）
（夢のお船）
（梅に春風）
（春の夜は）
（大江戸出世小唄）
（見返り柳）
（旅笠道中）
（東海の顔役）
（ひらさき小唄）
（しんどろどろ）
（港の戀歌）
（誰も彼も）
（瀬次喜多行進曲）
（元祿くづし）
（下田しぐれ）
（唐人お吉）
（カンチロリン）
（ギツチョンチョン）
（鹿兒島小原良節）
（同三下り）
（大漁音頭）
（どろろ節）
（ペチカ燃えろよ）
（船場の戀はん）
（軍刀ぶし）
（きこりくづし）
（庄内よとこ）
（雁もなくのに）

◇ジヤズ・ソング

（多摩の流れ）東海林太郎
（水の東京）
（黄昏の路）伊藤久男 梅
（宵の柳）松平晃 二三吉
（旅の想ひ出）上野靜夫 小梅
（伊那は時雨て）
（二人の影）明本京靜 九山和歌子
（寢た子可愛や）
（昭和音頭）中野忠晴 九山和歌子
（モダンかつぽれ）二三吉
（春と云やもの）
（戀は街から）藤田稔 〈レン本田
（地平線の彼方へ）
（ダイナー）ディック・ミネ
（黒い瞳）
（君の微笑）〈レン本田 藤田、稔
（島の踊り子）中野忠晴 九山和歌子
（串本節）
（安來節）
（ブルー・ハワイ）藤田稔 東海林太郎
（カウボーイの唄）
（若き日の歌）渡邊光子
（昭和のお嬢さん）
（草津くづし）永井喜美子
（草津湯もみ歌）
（おけさくづし）小梅
（新おけさ）
（鴨綠江節）晋九
（詩吟入）
（新鴨綠江節）
（新串本節）

◇スケツチ

（軍艦生活の朝）說明 吉田大佐
（上海事變）小織桂一郎
（林隊長篇）外一統
（三勇士篇）

◇錦琵琶

（橘大隊長）二 水藤錦穰

◇琵琶講談

（大楠公）二 水田田玄洲

◇兒童劇

（牛若丸）一 長谷山雛菊

◇童謠

（お猿の踊り）河村順子
（小馬に乘つて）石橋貴久子

◇小唄

（大津繪）豆千代
（淡海節）柳家三龜松
（都々逸）

◇浪花節

（寺坂吉右衞門）二 京山小圓
（村上喜劍）酒井雲
（卜猿七）同
（濕びゆく忠治）同
（肉彈三代記）二 梅中軒鶯蛍

◇落語

（カフエー日記）一 柳家權太郎
（ダンスホール）一 昔々亭桃太郎
（流し圓タク）一 柳家金語樓

◇萬歲

（ほんとにさうなら）（砂川捨丸 中村春代）
（數へ唄）一 同
（明鳥）一 同
（癌）一 リーガル千万吉

花嫁樣のれ支度

結婚式用髪飾無料で貸します

パーマネントウエーブ

晩市パウエル街（大三）

「米は米屋へ」

無砂糖白米

（砂糖のみの配達は五十四仙申受けます）

東ハイランド銀行前

電話ハイランド八八九二

花嫁樣のれ支度

パーマネントウエーブ・クチーブ及美顏術の元祖として

晩市東（ステン）ダス街五二九

盛夏

野やビーチで

無心に遊ぶ子供の姿をチヨイト木蔭から寫して下さい

値段……

一、二五仙より　十五、五〇仙

公認 パウエル藥店

パウエル街三九九　電話シーモア七五〇二

寫眞現像焼付 御藥

新見商會

フイルム現像焼付引伸

晩市パウエル街三三一

電話ダグラス三一一二